

第2回 岡崎市産木材を活用した学生・建築デザインコンペティション 2024 ～「Wood city OKAZAKI」森から考える保育園建築～

■概要

岡崎市は総面積約 3.8 万ヘクタールのうち約 60%を森林が占めており、「豊かな緑に囲まれた」愛知県の中核市の1つである。特に東部の額田地域では、100 年以上前から林業が盛んに行われており、人の手によって整備された森林が矢作川水系の重要な水源地域としての役割や木材等の生産、土砂災害の防止等の役割を担ってきた。しかしながら近年は、木材価格の低迷や高齢化等による林業従事者の減少等により、必要な森林整備が実施されていない状況となっている。

また、昨今のカーボンニュートラルを目指す動きの中で、木材の炭素貯蔵効果や RC 造等の他の建築工法よりも建築時における二酸化炭素の排出量が少ないことに注目が集まっており、木材を「木造建築」へ活用することへの重要性が認知されるようになってきた。国内では、戸建住宅の場合は以前から木造の割合が多いが、非住宅の分野では鉄骨等の他の建築資材を使用する割合が大きいため、非住宅分野での木造率の上昇が今後の木材利用の促進に欠かせない要素となっていることは明白である。

こうした社会情勢を受けて岡崎市では、中規模以上の建築物での岡崎市産木材の利用促進を喫緊の課題と捉えている。外国産木材や他の地域の国産木材を使った場合でも、炭素の貯蔵という観点からは達成されるが、地元木材を使うことで木材輸送時の二酸化炭素の排出量削減や地元の森林整備が促進される。

本コンペは、地元の森林整備の必要性までも理解した上で中規模以上の木造建築の普及促進に取り組む担い手を育成することを目的に開催するものである。森林散策を通して木材に触れ、ワークショップから森林の現状を知り、木材利用について自ら調べて考えたことを活かした建築設計提案がなされることを期待している。

■課題

岡崎市の人工林資源を活用した保育園建築

テーマは特に絞らないが、「森づくり・木造保育園」に関わるものとする。

■敷地

住所：岡崎市内（参加申込み後に詳細と図面を送付します。）

敷地面積：約 2,200 m²

■作品条件

構造：木造

要求規模：延床面積 1,000 m²程度

概要：別紙参照（参加申込み後に詳細と図面を送付します。）

用途：0歳児から5歳児（小学校就学前）を対象とする公立保育所（定員 155 名）

■ 審査項目

建築物の先進性/デザイン性

岡崎市における森林資源・木材利用への理解

建築の実現性/利用者への配慮

周辺環境への配慮/地域との共生

主観的評価

■ 日程：コンペスケジュール

2024年 4月1日（月） 募集要項公開、応募登録の開始

2024年 5月18日（土） ガイダンス

森林の現地見学会

2024年 6月8日（土） コンペ対象保育園の見学会

2024年 9月30日（月） ポスター締め切り

2024年 10月中旬頃 審査委員コメント返却

2024年 11月23日（土・祝） 最終講評会、表彰式@岡崎市内

■ 審査委員

審査委員長 杉本 洋文 氏（(株)計画・環境建築代表取締役会長、元東海大学教授、ウッドデザイン研究所代表）

審査委員 小見山 陽介 氏（京都大学大学院工学研究科建築学専攻 講師）

山田 憲明 氏（山田憲明構造設計事務所（YSD） 代表取締役）

小原 淳 氏（株式会社もりまち 取締役）

河崎 泰了 氏（竹中工務店木造 木質建築推進本部 本部長付）

鵜飼 浩平 氏（with U architects 一級建築士事務所 主宰）

清水 康則 氏（岡崎市副市長）

■ 賞

最優秀賞 1点（副賞 3万円、岡崎市産ミネアサヒ 10kg）

優秀賞 1点（副賞 1万円、岡崎市産ミネアサヒ 5kg）

■ 応募登録期間

2024年 4月1日（月）～ 2024年 5月7日（火）

■ 応募資格・条件

- ① 2024年4月1日時点で学生・院生（建築士の免許のない方）であること。（複数人で応募する場合は全員該当すること。）大学院、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、高等学校（各種学校）など。
- ② 2024年5月に岡崎市内で行われるガイダンスに参加し、2024年11月の最終講評会に出席できる方。

■応募登録方法

応募には、登録が必要となります。

登録先：<https://forms.gle/iXHLjNuYdHCQYDhr8>

コンペ応募登録完了後、登録完了のメールが送られます。



■提出物

① 一次審査（ポスター審査）

ポスター：A1サイズ（横）1枚

作品の提出はデータ（JPEG形式）提出とします。

JPEGファイルサイズ：A1サイズ・データ容量：5MB以内

送り先：ymd-38@fc.ritsumeai.ac.jp

② 最終講評会

プレゼンテーション用データ

データ容量：300MB以内 表現方法は自由です。

模型：縮尺自由 ただし、縦60センチ×横120センチ以内とする。

模型は当日、会場へ持参して展示してください。また、ポスターも合わせて展示していただきます。模型は最終講評会終了後に期間を設けて、主催者が展示等を行い、展示等が終了した後、応募者へ返却します。また、模型の制作に関わる費用の一部については、上限を設けて補助します。詳細は、別途、案内します。

■要求図面：ポスターの構成

配置図・平面図・立面図・断面図（各図面の縮尺は自由）、透視図・写真など、その設計意図を表現する図面

■審査結果発表

一次審査を行い、審査委員からのコメントをお返しします。応募多数の場合は一次審査で落選する場合があります。

最終講評会では、発表者はプレゼンテーション（15分）および審査委員との質疑応答（10分）を行っていただきます。全グループの発表・質疑応答が終了した後、入賞作品を決定します。

■注意事項

- ・ 応募者は、応募作品の一部あるいは全部が第三者の権利（知的財産権や著作権等）を侵害しないことを確認した上で、応募作品を提出するものとします。特に雑誌、書籍、Web等の著作物から無断複写した画像等は使用を禁じます。尚、第三者から応募作品について権利侵害、損害賠償等の苦情・クレームがあった場合は、全て応募者自らの責任と費用負担で解決するものとし、主催者は一切の責任と負担を負わないものとします。
- ・ コンペの応募条件・審査方法・日程等は、社会環境・災害等の影響で変更する可能性があります。
- ・ 応募作品をまとめた書籍や事例集を発行する場合があります。また、岡崎市内の公共施設の建て替え等において、応募作品のアイデアを採用することがあります。採用する場合は、応募者へ別途、主催者から連絡します。応募者は予めご了承ください。
- ・ 応募作品は、国内外を問わず公表または他設計競技へ提出されていないオリジナル作品に限ります。また同一作品の他設計競技への二重応募は禁じます。他設計競技の範囲については、審査委員の判断によるものとします。
※上記にあるような違反事項（第三者の権利を侵害したことが判明した場合および二重応募等が判明した場合）に抵触した場合は主催者の判断により、受賞発表後であっても入賞を取り消すことがあります。
- ・ 作品応募にあたりご提供頂きました個人情報、主催者および運営事務局が適切に管理し、応募者の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。

■お問い合わせ先（事務局）

NPO 法人 都市の木質化プロジェクト
学生・建築デザインコンペティション 事務局
担当：山出
e-mail: ymd-38@fc.ritsumeai.ac.jp

都市の木質化プロジェクトは、都市部に国産木材を投入する『都市の木質化』を広め、木造建築をはじめとする木質環境の構築を通じて都市木造を推進し、森林と都市が抱える諸問題の解決に貢献することを目的としています。このため、(1)都市の木造木質化を推進する活動、(2)都市の木造木質化を推進する次代の担い手を育成する活動、(3)木質環境の整備を行う活動、(4)木材の利活用を推進する森林経済に関する活動に取り組んでいます。

主催 岡崎市
事務局 NPO 法人 都市の木質化プロジェクト
協力 愛知建築士会岡崎支部、愛知県建築士事務所協会岡崎支部